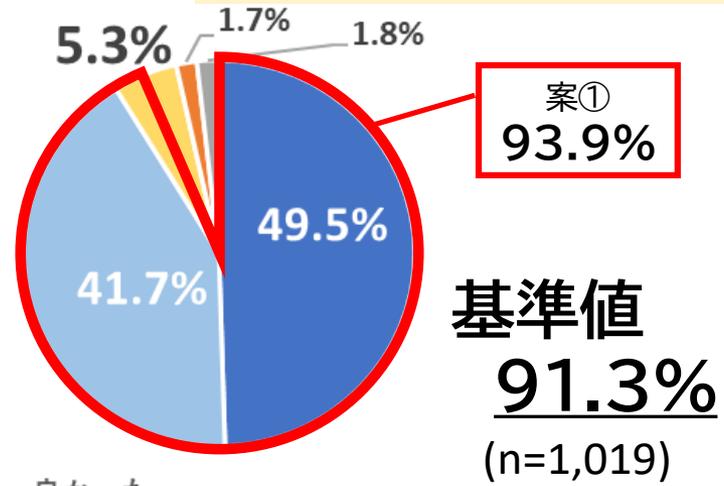


【資料第3号】 総合指標の目標値の考え方

「尼崎市に住んで良かった」と感じている市民の割合

目標値の考え方

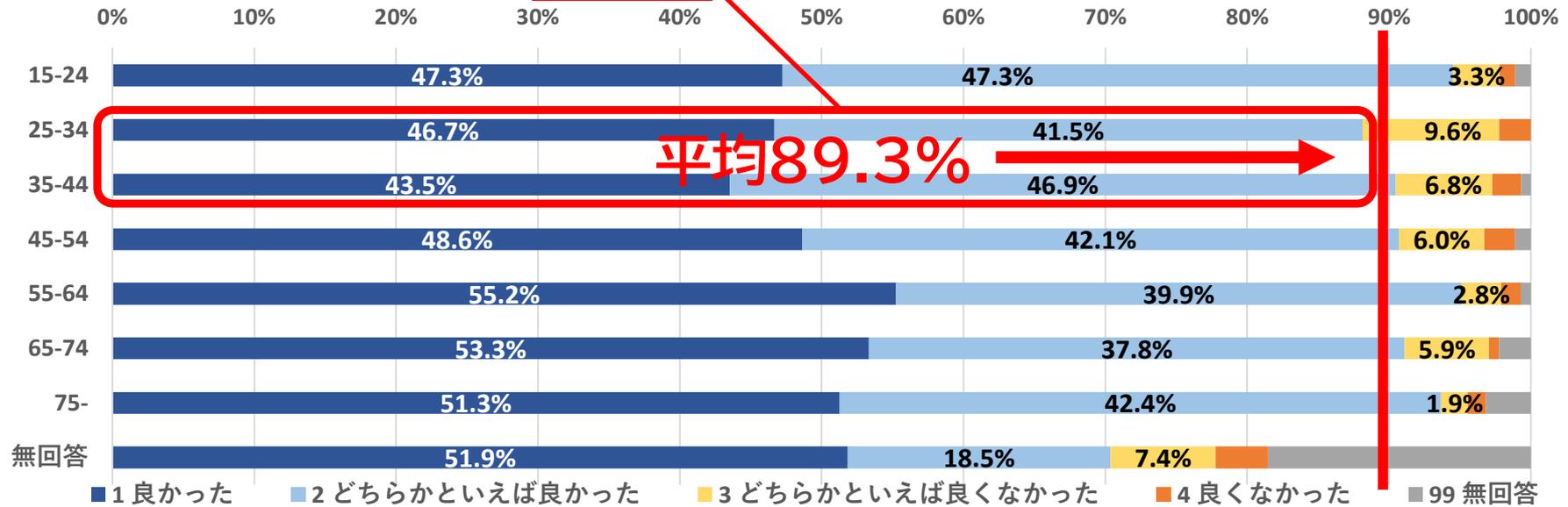


案① 「どちらかといえば良くなかった」と回答した市民の半数を「良かった」に移行
→ **93.9%**

案② 数値の低い「25-44歳」の層を除いた平均値を目標とする
→ **92.0%**

案③ 90%以上の高水準を維持する
→ **90.0%以上**

<参考> 年齢階層別の割合



「安全で安心して暮らせるまち」だと感じている市民の割合

論点1 目標値の設定について

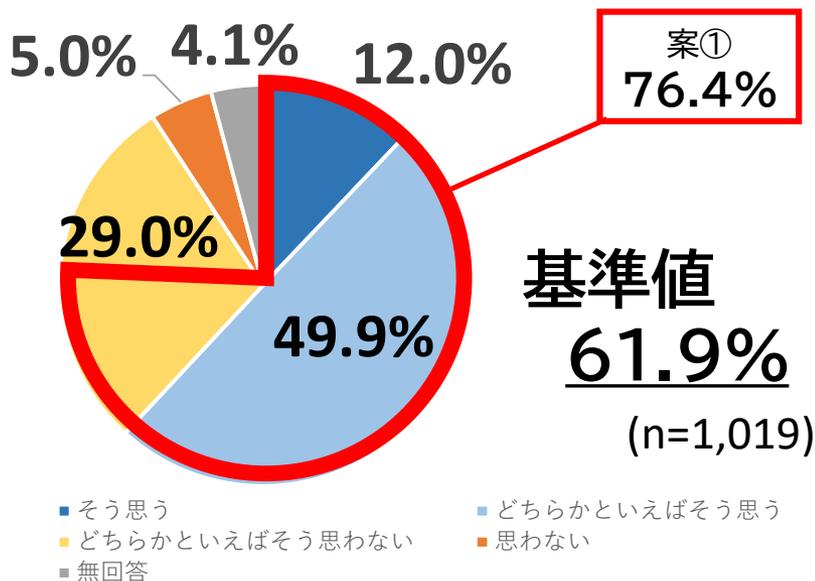
論点2 主要取組項目②「生きがい・ささえあい」に「地域の防犯力」の視点を入れることについて

目標値の考え方

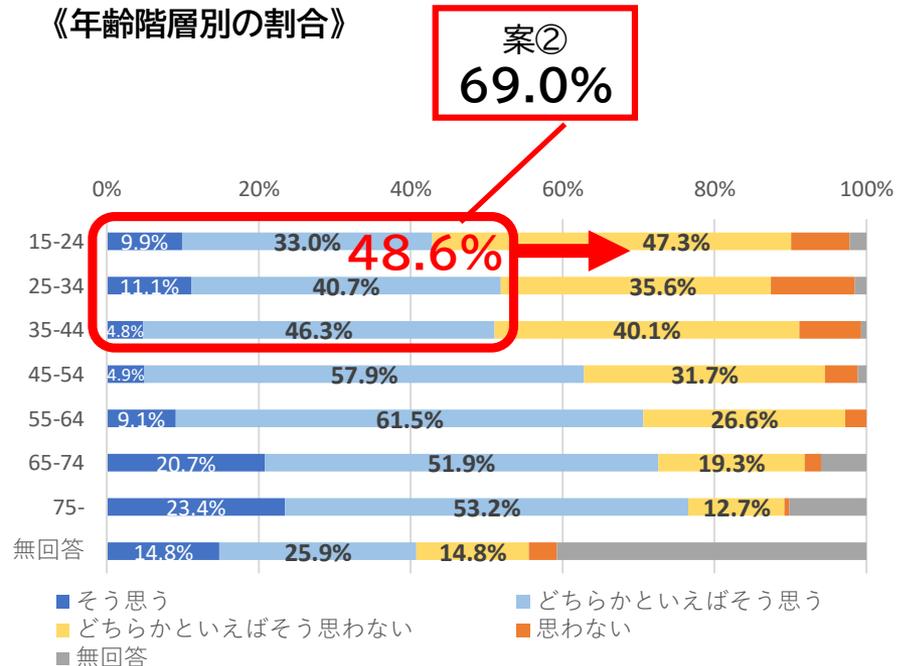
案① 「どちらかといえば思わない」と回答した市民の半数を「思う」に移行 → 76.4%

案② 数値の低い「15-44歳」の層を除いた平均値を目標とする → 69.0%

《全体の回答割合》

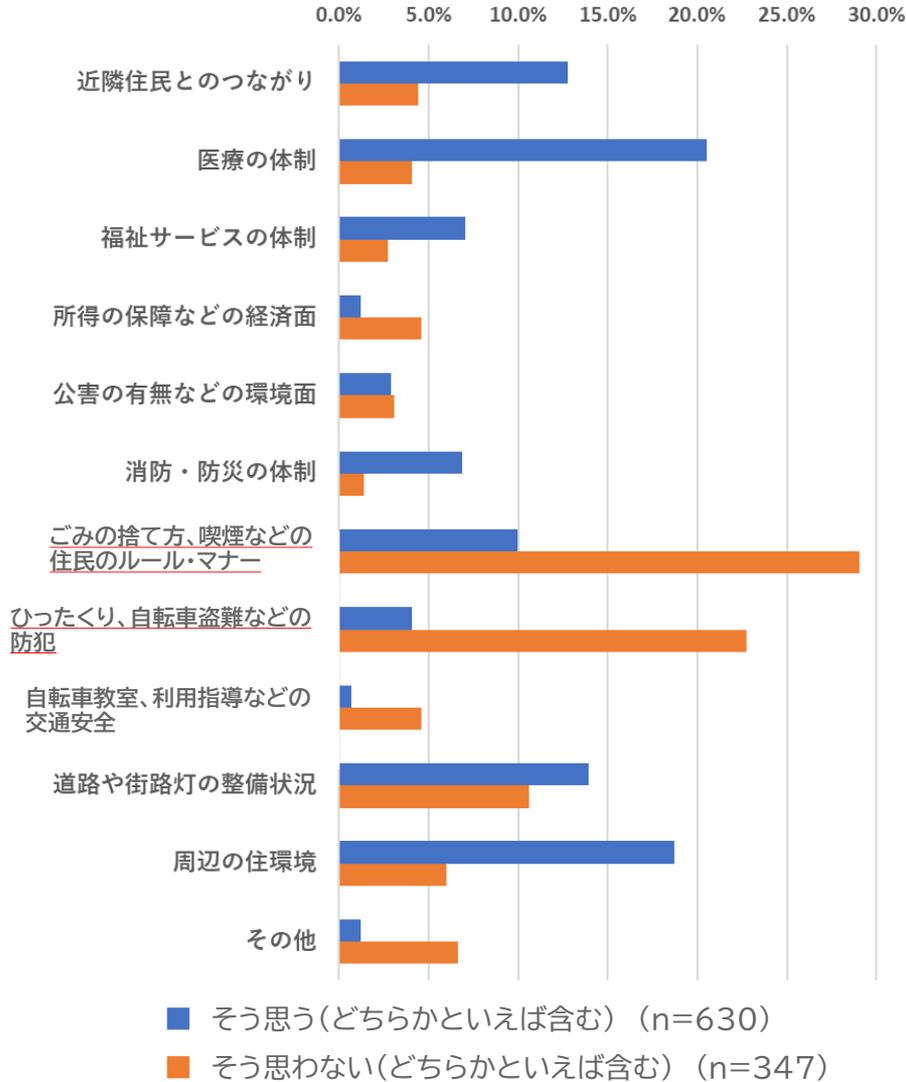


《年齢階層別の割合》

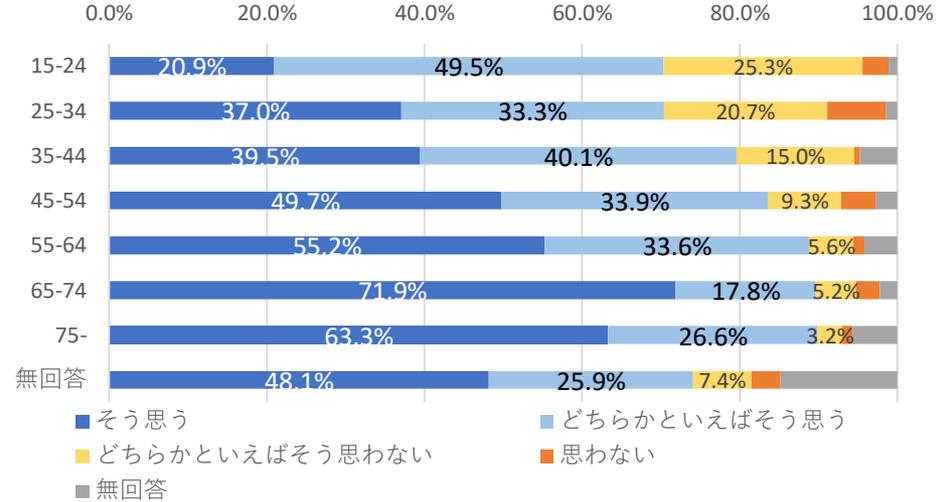


「地域の防犯力」の視点について

「安全で安心して暮らせるまち」だと思う(思わない)理由



「尼崎市に住み続けたい」(n=1,019) (思う 82.3%)



住み続けたい(続けたくない)理由

